

2024年度 きらら園 保育所の自己評価

今年度も「保護者との信頼関係」「丁寧な保育」を園として大切にし、子どもたちが安心して成長できる環境を提供して行きたいと考えました。子どもたち一人ひとりの成長を見守り、個々の発達段階に応じた支援を職員で相談しました、職員間の連携を強化し、情報共有や意見交換を積極的に行いました。特に、遊びを通じた学びを重視し、子どもたちが自発的に活動できる環境を整えることに努めました。保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築くことに努めました。感染症対策として手洗いの水栓を自動にしました。

評価項目	取組み状況
1.保育理念	<p>きらら園の保育目標として優しく温かい関わりの中で信頼関係を築く、生きるための基礎となる健康や体力を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で気づき、自ら考え、主体的に判断して行動する、又、仲間と協調し、他人を思いやる心や優しい気持ちを大切にするなど乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられるよう努めました。</li> </ul>
2.子どもの育ちと保育内容	<p>毎日の生活はもちろんの事、イベントや食育などの季節の行事を通して保育者と園児、保護者と成長と育ちを共有し、体験することで喜び合い感動することが出来ました。また生活の中で一人一人の発達に応じた保育のねらいや環境の設定を行い、個々の発達や支援につながるように努力しました。</p>
3.保育者の資質向上	<p>定期的に適切な研修に参加し、保育理論や実践技術を学ぶことが重要だと考えました。特に、子どもの発達や心理に関する知識を深めることで、より適切な支援が可能になると考えました。また、保育者の自己評価では自分自身の保育実践を振り返り、自己評価を行うことで、強みや改善点を明確にし来年度の課題としました。</p>
4.保護者に対する支援	<p>コドモンやインスタグラムなどを利用し、写真や動画などで日々の保育を保護者の皆さまと共有することが出来ました。また、コドモンでは新たに口座振替機能なども活用し負担の軽減に努めました。家庭と協力しながら子どもの育ちを支え、成長や喜びを共有していきたいという考えのもと、保護者支援に力を入れてきました。また、子育ての悩みや不安な気持ちに寄り添い支援につなげる努力をしました。</p>

<p>5.地域や社会との関わり 地域子育て支援</p>	<p>保育施設体験として年間に定期的に設け、保育園を利用したことのない保護者が安心して利用できるようにしました。特に子育てサロンでは、保育者が主体的に活動し園への理解を深めました。小学校との連携として島小学校と架け橋期のカリキュラムの作成、なかよし交流会、島幼稚園と幼保連携による交流会などを行いました。YouTubeでは子供たちが楽しめよう動画を作成し、保育の楽しさ伝える活動をしました。</p>
---------------------------------	---